

平成 29 年も早師走。

特に、冬の訪れが早く感じられ、紅葉を楽しむ時間も短い秋のように思いました。

さて、12 月ということで一年を振り返ってみることにしました。

村の各事業につきましては、村民の皆様のご協力のお陰をもちまして順調に進展しています。

農業関連では「みのりの郷東白川株式会社」が 2 年目を迎え、支配人と地域おこし協力隊による運営体制が整い、社員やオペレーターの皆さんの努力により、機械装置を更新した「東白川ライスセンター」の運転も含め大過なく事業運営ができました。

また、3 番目の設立となった西洞集落営農組合が発足したことも大きな出来事であったと思っています。

神土地区の「ふれあいサロン」に引続き、五加地区に交流サロン「ほほえみ」が完成し 5 月にオープンしました。地域の皆さんのお陰で順調に運営いただいています。これからもサークル活動や屋内軽スポーツのカローリングなどを楽しんでいただき、冬場の健康増進に活用していただきたいと思います。

医療・介護・福祉ゾーン整備事業では 50 回を超える診療所スタッフによる協議や建設委員会での議論、議会の皆さまとの討議を重ねていただき、予算の許す範囲内ではありますができる限りの地域や医療・介護スタッフの希望を盛り込んだ建設計画案を作ることができました。29 年度で実施設計を行い、いよいよ 30 年度建設に向けて準備を進めています。

建設計画の詳細については、今後広報紙等でお知らせしてまいります。

つちのこイベントは過去最高の人出となりました。

“ツチノコ”には、多くのテレビ取材をしていただき、全国的な知名度アップにつながりました。

また、可茂地域活性化委員会主催の「第 8 回かも 1 グランプリ」が本村で開催され、商工会青年部の鮎ラーメンが 3 位に入賞できました。

東白川夏祭り、秋フェスタも天候に恵まれ大いに賑わいをみせました。

また、ふるさと企画や新世紀工房、野菜村、白川茶屋の皆さんには、様々なイベントを開催、また村外のイベントにも多く参加していただき活発な活動を続けていただいておりますことにも感謝申し上げます。

そうそう、忘れてならないのが「つつちーとのこりん」。

東白川村の広報キャラクターとして神出鬼没の大活躍。お疲れ様でした。

思いのままに平成 29 年を振り返ってみましたが、行政では既に来年度の予算案作成に取りかかっています。2 月に開催した集落座談会や議会を通じていただいたご意見、連合 PTA の皆様の要望などを真摯に受け止め、できる限り村政に活かしてまいります。

1 年間の皆様の村政に対するご協力に感謝申し上げますとともに、来る平成 30 年が皆様にとって幸多き年となりますことを願っております。

平成 29 年 12 月

東白川村長 今井俊郎